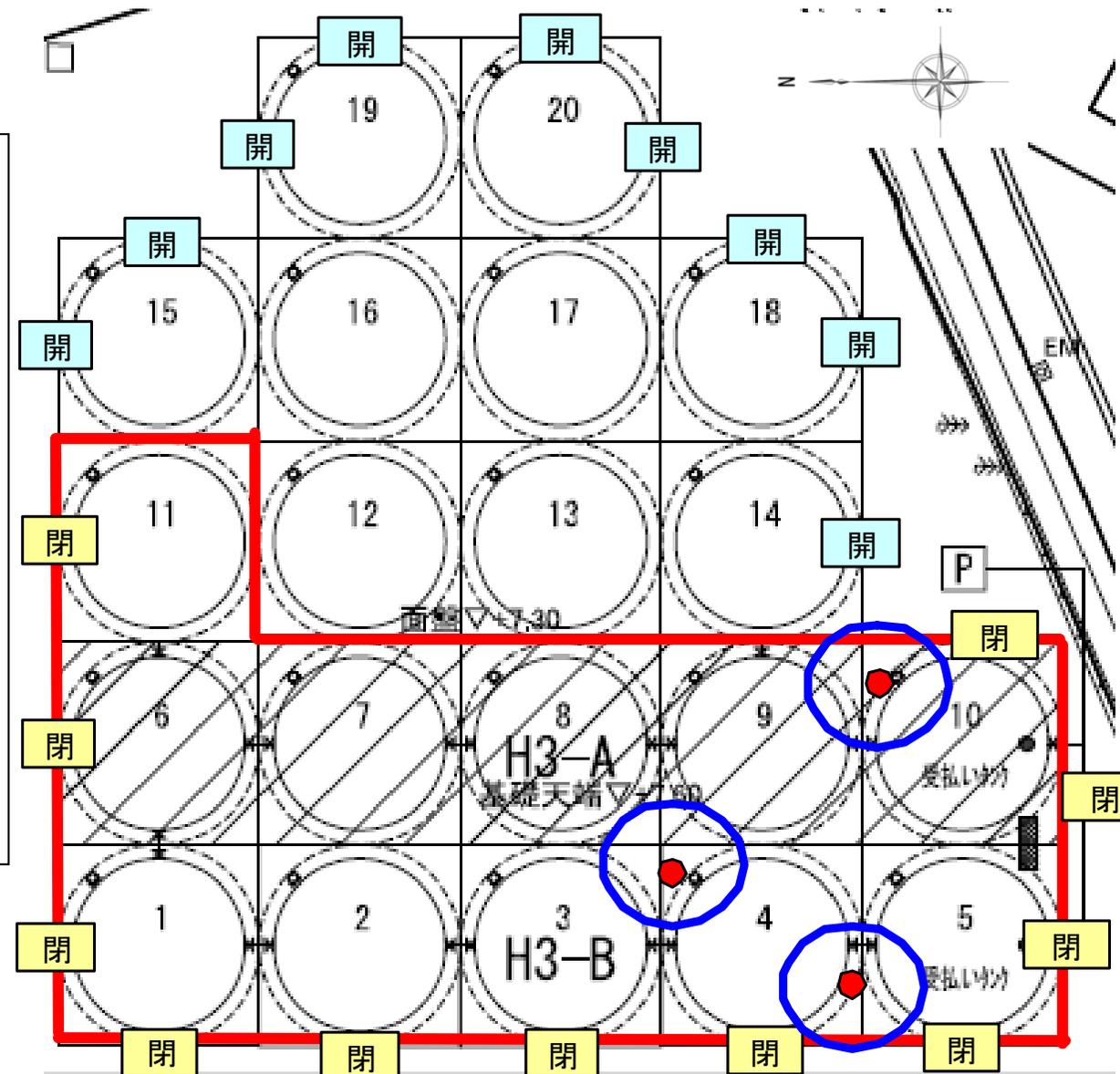


# H3エリアタンク放射線遮へい試験について

## 1. 放射線遮へい試験の概要

- 9月3日、H3エリアBグループ No.4タンクの北側・南側、H3エリアAグループNo.10の北側の高線量を示している箇所（右図の青丸）の底板フランジ部にて、遮へい試験を実施。
- タンクの内面に使用しているシーリング材とアクリル板による遮へいを行うとともに、高線量部位の目の前のコンクリート基礎面にゴムマットを敷き、その効果を確認。



## 2. 遮へい試験のフロー（写真は、H3エリアBグループNo.4（北側））

- 底部フランジ部にシーリング材を塗布。
- アクリル板（横:約15cm×縦:約10cm×厚さ:約1cm）を1～3枚設置。
- ゴムシート（横:約1.5m×縦:約1m×厚さ:約3mm）を2枚設置。
- 写真の数値は、70 $\mu$ m線量当量率（ $\Lambda$ - $\gamma$ 線）の値。  
（単位：mSv/h）

### ①フランジ部シーリング



### ②アクリル板設置



### ③ゴムシート設置



### 3. 遮へい実施前後の測定結果

#### ■線量の測定結果

##### <遮へい実施前>

- H3エリアBグループNo.4（北側） 2,200mSv/h（5cm距離）※
- H3エリアBグループNo.4（南側） 500mSv/h（5cm距離）※
- H3エリアAグループNo.10（北側） 70mSv/h（5cm距離）※

##### <遮へい実施後>

- H3エリアBグループNo.4（北側） 30mSv/h（5cm距離）※
- H3エリアBグループNo.4（南側） 15mSv/h（5cm距離）※
- H3エリアAグループNo.10（北側） 10mSv/h（5cm距離）※

※ 70 $\mu$ m線量当量率（ $\beta$ - $\gamma$ 線）の値。

（1cm線量当量率（ $\gamma$ 線）の値は1mSv/h未満）